

職員による自己評価

A.環境面

災害対応も含め、事業所内の安全対策を強化した方がよい。

B.児童への支援内容

概ね良くできている。一部の職員間では共有できている情報内容・情報量を、同じようにパートスタッフにも共有していくことが課題である。

C.関係機関との連携

学校とは送迎時に確認等ができている。また、学校のことについて、保護者の方とも連絡帳等で情報共有がなされている。

D.保護者への説明責任・信頼関係

送迎時に学校や所内での様子はしっかり伝えられている。しかし、面談や大人同士でゆっくりと話をすることが、十分に確保されていないのが現状である。

E.非常対応

物資や道具、避難場所の共有はできているが、実践訓練が行われていないのが現状である。

保護者による評価

A.環境面

概ね満足を得ているが、バリアフリー化の配慮に対してはまだ十分とは言えない。

B.児童への支援内容

4項目のうち、3項目が80%以上で満足を得ている。しかし、地域交流や、障害のない子どもとの活動機会がないことについて指摘あり。

C.事業所からの情報発信

日頃の様子や、所内での対応などは丁寧に説明してくれている。写真やお知らせプリントにして、もっと活動様子を教えて欲しい。

D.保護者への説明責任・信頼関係

その日の様子はしっかり伝えてくれている。しかし、両方でこれからこういった方向性で協力して支援していくか、という話は少ない。また、保護者の横のつながりを真ん中で仲介できていない。

E.非常対応

マニュアルの配布は行ってくれているが、実践訓練をしていない様子なので不十分である。

事業所内での分析

【共通点】

環境面や児童支援に関しては、どちらも概ね満足できている。
保護者からの「満足度」の項目は90%以上で「満足」という答えを頂いている。
これからも信頼を得られるように、継続して支援を続けていきたい。

【相違点】

所内では「保護者との連携」は良くとれているという回答が多かったが、保護者側からすると面談など別の時間を設けてゆっくり話をしたり、子育て全般についても、もっと広く相談にのって欲しいということだった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

起ち上げ当初からしっかりとした基盤を構築し、それを継続してこられたことが、保護者様からの信頼や満足感に繋がっている。改めて自分たちの支援のあり方に自信を持つことができた。

これからも、利用者様とそのご家族・学校と細かく丁寧にやり取りを重ね、多くの方から安心と信頼を得られるよう、スタッフ一同で協力して支援にあたっていきたいと思います。

事業所の改善点

専門知識に富んだスタッフが少なく、適切な助言や方向性を示すことが難しくなってしまう。もっと一緒になって子育て全般についても親身に考えていく姿勢を見せたい。

そのためにも自分たちがまず知識を身につける必要があり、現在は多店舗合同での研修等も多く予定されている。一人で考えても難しいことは、知識に富んだ同僚の方と一緒に考えていくことや、対応の仕方を参考にさせて頂くことでカバーしていきたい。

事業所の改善への取り組み

- ・難しい問題も一人で考えず、みんなで相談しながら統一した対応にあたる。そのために月のミーティングは貴重な時間であり、利用者様一人ひとりの留意点や過去の支援方法、そしてこれからの支援方法の確認を丁寧に行い、誰があたっても同じ支援対応ができることを目指していく。
- ・相談内容によって適任のスタッフが変わってくるので、日頃からいろんなスタッフが送迎時に保護者様と交流をしていき、気軽にお話しやすい・相談しやすい環境をこちら側から整えていけるよう丁寧な努力をしていく。
- ・支援のあり方について、利用者様やその保護者様と一緒に考えていくが、最後は本人やご家族様の希望に十分添えるような方向性を見出していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者様からの満足度が数値として知ることができ、スタッフ一同とても励みになった。感謝をして頂けることが、我々の大きなやりがいにつながることを改めて感じられた。この部分は、これからもより大切にしていきたいとスタッフで共有した。

その一方で、保護者からの希望や、足りていない部分も知ることができた。求められている部分を一つでも、少しでも満たしていけるように、四月から仲間と一緒に考え対応していきたい。そして、より安心・信頼してもらえる事業所をみんなで目指していきたい。

事業所名 もみじのて NEXT

担当者 藤原 直也